

2026年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社 ティア

上場取引所

東名

コード番号 2485 URL <https://www.tear.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 富安 徳久

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画本部長

(氏名) 辻 耕平

配当支払開始予定日

TEL 052-918-8254

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	5,771	6.3	455	17.7	411	31.1	226	41.5
2025年9月期第1四半期	5,428	43.1	553	113.0	597	135.0	387	162.2

(注)包括利益 2026年9月期第1四半期 311百万円 (19.8%) 2025年9月期第1四半期 387百万円 (162.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	10.09		
2025年9月期第1四半期	17.24		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	27,805	8,689	31.3
2025年9月期	27,868	8,603	30.9

(参考)自己資本 2026年9月期第1四半期 8,689百万円 2025年9月期 8,603百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年9月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年9月期		10.00		10.00	20.00
2026年9月期(予想)		10.00		13.00	23.00

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

(注)2. 2026年9月期(予想)期末配当の内訳 普通配当10円00銭、創業30周年記念配当3円00銭

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,100	4.4	1,290	17.8	1,180	25.1	715	29.7	31.77
通期	23,700	9.9	2,035	23.8	1,825	15.8	1,050	17.8	46.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規　　社　　(社名) 、 除外　1　社　(社名) 株式会社メモリアホール西野山の手

(注) 詳細は、添付資料P.8「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
以外の会計方針の変更：無
会計上の見積りの変更：無
修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期1Q	22,510,100 株	2025年9月期	22,510,100 株
期末自己株式数	2026年9月期1Q	7,758 株	2025年9月期	7,758 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期1Q	22,502,342 株	2025年9月期1Q	22,504,711 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載した業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んであります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(連結範囲の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、高水準の企業収益による設備投資の増加や、雇用・所得環境の改善を背景に底堅く推移する個人消費等により、緩やかに回復しております。また、先行きに対しましては、企業の賃金・価格設定行動の持続により、今後も緩やかに回復するものとみられておりますが、各国の通商政策の影響による海外経済の減速懸念や国際金融市場の動向等、先行きに対する不透明感は拭えない状況であります。

葬儀業界におきましては、葬儀に関する潜在的需要は人口動態を背景に年々増加するものと推計されておりますが、核家族化や葬祭規模の縮小等により、葬儀単価の減少傾向が続いております。また、直近の葬儀業界といたしましては、前年同期と比較して葬儀件数は増加する一方、売上高は減少しております。

かかる環境下、当社グループは顧客満足度の向上を図るべく「明瞭な価格体系による葬儀費用の明確化」「徹底した人財教育によるサービスの向上」「ドミナント出店による利便性の向上」を戦略の基本方針とし、直営・フランチャイズ出店による徹底した差別化戦略を展開しております。また、M&Aによるグループ化を重要な戦略と位置づけており、2025年7月1日付で北海道札幌市を中心に葬儀会館を3店舗運営する「株式会社メモリアジャパン」及び関係会社（現在、2社を合併し株式会社ティア北海道に社名変更）を子会社化しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、「新生ティアグループ」のスローガンのもと、中期経営計画を策定し4項目のテーマを設け8つの戦略を推進しております。新規出店の状況につきましては、直営は愛知県下、三重県下にそれぞれ1店舗、東海典礼が愛知県下に1店舗、フランチャイズでは東京都内に1店舗を開設する一方、直営の「ティア笠寺」をリロケーションにより閉鎖いたしました。これにより当社グループによる会館数は合計222店舗（直営97店舗、フランチャイズ75店舗、八光殿21店舗、東海典礼26店舗、ティア北海道3店舗）となりました。

売上高におきましては、八光殿及び東海典礼の葬儀売上高の増加及びティア北海道の通年寄与による增收効果に加え、不動産事業の売上高が順調に拡大いたしました。

売上原価におきましては、葬祭事業の売上原価率は低下したものの、不動産事業の拡大に伴い商品原価率が上昇し、経費面では営業促進実施に伴う広告宣伝費、賃金制度改定による人件費、ティア北海道の通年寄与に伴う経費等が増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は57億71百万円（前年同期比6.3%増）となり、売上原価率は前年同期と比べ0.8ポイント上昇し、販売費及び一般管理費は前年同期比12.0%増となりました。これにより、営業利益は4億55百万円（同17.7%減）、経常利益では4億11百万円（同31.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億26百万円（同41.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 葬祭事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、直営では「ティアの会」会員数の拡大を図るべく、各種会館イベントや提携団体・企業向けの営業等に取り組んでまいりました。葬儀件数におきましては、新たに開設した会館の稼働の効果はあったものの、既存店が前年同期を下回り、また「ティア笠寺」のリロケーションにより、前年同期比0.4%減の3,958件となりました。葬儀単価におきましては、供花売上の単価は横ばいとなったものの祭壇売上・葬儀付帯品の単価がそれぞれ低下し、前年同期比1.9%減となりました。

また、グループ各社の葬儀件数の状況としましては、八光殿及び関連ブランドは578件（同2.1%増）、東海典礼及び関連ブランドは443件（同19.4%増）、ティア北海道は50件となりました。この結果、葬祭事業の葬儀件数は前年同期比2.4%増の5,029件、葬儀単価は1.0%減となり、売上高は50億96百万円（同1.4%増）、営業利益は8億58百万円（同11.3%減）となりました。

(b) フランチャイズ事業

当第1四半期連結累計期間におきましては、FC会館の既存店の売上高が前年同期比で減収となったことにより、ロイヤリティ売上、物品販売等が減少しました。経費面では人件費が減額となり、これにより売上高は1億28百万円（同2.6%減）、営業利益は18百万円（同15.0%増）となりました。

(c) その他事業

その他事業は、不動産事業、リユース事業等で構成されております。

不動産事業につきましては、買取・販売の件数が増加したのに加え、高単価の物件の取り扱いがあったため、不動産事業の単価が上昇いたしました。リユース事業におきましては、リピーター向け営業促進の実施により買取件数が増加し、これにより、その他事業の売上高は5億46百万円（同101.7%増）、営業利益は85百万円（同402.2%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は61億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が1億97百万円増加したものの、現金及び預金が1億75百万円減少したことによるものであります。固定資産は216億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億47百万円減少いたしました。これは主にのれんが1億4百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、278億5百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は61億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が2億84百万円増加したものの、未払法人税等が2億38百万円、賞与引当金が1億82百万円減少したことによるものであります。固定負債は129億41百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億17百万円減少いたしました。これは長期借入金が1億77百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、191億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は86億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益2億26百万円及び剰余金の配当2億25百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日に公表いたしました、「連結業績予想」「配当予想」に変更はございません。

売上高予想としましては、ティアグループの既存会館が堅調に推移する見通しに加え、新店稼働に伴う増収効果を見込んでおります。また、不動産関連・アフターサポート・霊園事業等のサービスを担うトータル・ライフ・デザイン領域の拡大、ティア北海道の通年寄与による増収効果等を見込んでおります。

売上原価率は、商品内容の見直しや価格改定により商品原価率の低減を見込み、販管費では「営業促進実施に伴う広告宣伝費」「賃金制度改定による人件費」「SNSマーケティングの構築にかかる費用」に加え、ティア北海道の立ち上げに伴う経費等の増加を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,541	4,366
売掛金及び契約資産	984	1,182
商品	112	175
貯蔵品	78	77
その他	346	346
貸倒引当金	△15	△14
流動資産合計	6,047	6,131
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,141	10,168
土地	2,085	2,085
その他（純額）	854	840
有形固定資産合計	13,081	13,094
無形固定資産		
のれん	5,462	5,357
顧客関連資産	1,046	1,027
その他	297	284
無形固定資産合計	6,806	6,669
投資その他の資産		
差入保証金	1,133	1,137
その他	804	775
貸倒引当金	△4	△3
投資その他の資産合計	1,933	1,910
固定資産合計	21,821	21,673
資産合計	27,868	27,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	453	502
短期借入金	292	577
1年内償還予定の社債	71	71
1年内返済予定の長期借入金	954	954
未払法人税等	361	123
契約負債	2,166	2,151
貢与引当金	383	201
資産除去債務	36	36
その他	1,386	1,556
流動負債合計	6,106	6,174
固定負債		
社債	405	391
長期借入金	10,301	10,124
役員退職慰労引当金	2	2
退職給付に係る負債	64	63
資産除去債務	1,839	1,849
その他	545	509
固定負債合計	13,158	12,941
負債合計	19,265	19,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,895	1,895
資本剰余金	1,528	1,528
利益剰余金	5,205	5,207
自己株式	△2	△2
株主資本合計	8,627	8,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	△24	59
その他の包括利益累計額合計	△24	60
純資産合計	8,603	8,689
負債純資産合計	27,868	27,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	5,428	5,771
売上原価	3,320	3,575
売上総利益	2,107	2,195
販売費及び一般管理費	1,554	1,739
営業利益	553	455
営業外収益		
受取利息	0	0
受取家賃	8	8
受取保険金	61	0
その他	11	9
営業外収益合計	82	19
営業外費用		
支払利息	33	60
その他	4	2
営業外費用合計	38	63
経常利益	597	411
税金等調整前四半期純利益	597	411
法人税、住民税及び事業税	159	100
法人税等調整額	50	84
法人税等合計	209	184
四半期純利益	387	226
親会社株主に帰属する四半期純利益	387	226

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	387	226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
繰延ヘッジ損益	—	84
その他の包括利益合計	△0	84
四半期包括利益	387	311
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	387	311
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれん償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	255百万円	270百万円
のれん償却費	100	104

(連結範囲の変更に関する注記)

2025年10月1日付で株式会社メモリアホール西野山の手は、当社の連結子会社である株式会社メモリアジャパンを存続会社とする吸収合併を行った結果、連結の範囲から除外しております。また、同日付で株式会社メモリアジャパンは、株式会社ティア北海道へ社名を変更しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	5,000	—	5,000	—	5,000	—	5,000
その他	25	131	157	271	428	—	428
顧客との契約から生じる収益	5,026	131	5,157	271	5,428	—	5,428
外部顧客への売上高	5,026	131	5,157	271	5,428	—	5,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	—	1	6	7	△7	—
計	5,027	131	5,158	277	5,436	△7	5,428
セグメント利益	967	15	983	16	1,000	△446	553

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リユース事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△446百万円には、セグメント間取引消去△7百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△438百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	葬祭事業	フランチャイズ 事業	計				
売上高							
葬儀施行関連	5,073	—	5,073	—	5,073	—	5,073
その他	23	128	151	546	697	—	697
顧客との契約から生じる収益	5,096	128	5,224	546	5,771	—	5,771
外部顧客への売上高	5,096	128	5,224	546	5,771	—	5,771
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2	22	24	△24	—
計	5,098	128	5,226	569	5,795	△24	5,771
セグメント利益	858	18	876	85	961	△505	455

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、リユース事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△505百万円には、セグメント間取引消去△24百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△481百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。